平成30年度埼玉の子ども 70 万人体験活動

みよしちょうりつみよしちゅうがっこ

福祉体験





全学年



- 本校では、共生社会に生きる社会の一員として、高齢者や障がい 者への理解や思いやりのある行動が自然にできるよう、社会福祉協 議会等と連携して、福祉体験を実施している。
- 1年生「車いす体験」・2年生「アイマスク体験」・3年生「手 話体験」と3年間で3つの体験をしている。

生徒の 感想

- 授業を通して車椅子の不便さを実感した。車椅子に乗っている人 を支えるために多くの人が動いてくれていると思った。
- 今回の体験で、手話を学んだので、ぜひ普段の生活の中で手話を 使って会話ができるようにしたいと思った。
- 「目が不自由だからといって、生活する上で不便なことはない。」 と聞き、障がいに対して改めて考える良い機会になった。

成

- 体験を通してそれぞれの立場の人たちの生活を知り、生きがい をもって生活していることに気づくことができた。
- 生徒が高齢者や障がいのある人と接することにより、福祉、ボ ランティア活動へ関心を高めるとともに「思いやりの心」や「やさ しさの在り方」について考え、行動するきっかけとなった。